

## 事業概要表（草の根パートナー型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	タンザニア連合共和国
2. 事業名	女性リーダー育成のための理数科目強化と全人教育のモデル校開設プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	タンザニア、アルーシャ州バンガタ地区（マサイが大半を占める）は女子教育の必要性に対する意識の低さおよび財政不足による教育全般の不備が際立っている。女子の多くは初等教育で教育が終わり、10代初めで結婚、望まぬ出産、それに伴う人口増加、貧困の拡大再生産という大きな問題を抱えている。男性優位の社会で女性活躍の武器となるその解決には、女子にも自ら考え、行動する自主性を育む教育が必要であり、そのためには理数科目の強化が不可欠である。そのために理数科目と、全人教育ができる教員の養成を図り、持続的かつ適切な運営がなされるモデル校を開設し、全国に広める必要がある。能力がありながら教育の機会を奪われている恵まれない家庭の女子に中等教育を受ける機会を提供し、将来の知日派女性リーダーの育成をはかる。
4. プロジェクト目標	モデル校において「生徒中心・対話型」「全人教育」の指導ができる教員を養成する仕組が構築され、持続的な学校運営の基礎が確立される
5. 対象地域	タンザニア連合共和国、アルーシャ州、バンガタ
6. 受益者層（ターゲットグループ）	タンザニア政府登録NGO「さくら・ヴィジョン・タンザニア」の職員（25名）、 「さくら女子中等学校」現地採用教員（60名）、アルーシャ州内の他校の教職員（15名）、 中等学校生徒（250名）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「生徒中心・対話型」のための教育体制が構築される。</li> <li>財政管理体制が整備される。</li> <li>「生徒中心・対話型」「全人教育」女子中等教育の場として認知される</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「生徒中心・対話型」のための教育体制構築 <ol style="list-style-type: none"> <li>①教育ガイドラインを策定する</li> <li>②教育環境を整える</li> <li>③現地教員向けの模擬授業を日本人専門家が実施する</li> <li>④現地教員へ「生徒中心・対話型」指導研修を実施する</li> <li>⑤現地教員が「生徒中心・対話型」授業を実施する</li> <li>⑥現地教員と日本人専門家の間で授業の評価・モニタリングを行なう</li> </ol> </li> <li>財政管理体制 <ol style="list-style-type: none"> <li>①授業料の徴収を正確にする（振込形式など）</li> <li>②会計士が日本から遠隔で収支をチェックする体制を作る</li> </ol> </li> <li>「生徒中心・対話型」「全人教育」女子中等教育の場として認知 <ol style="list-style-type: none"> <li>①小学校卒業年次児童・保護者向けの学校説明会を行う</li> <li>②Pre-Form 1（体験入学）を実施する</li> <li>③全人教育の実施を促進するための校内体制を作る</li> </ol> </li> </ol>
8. 実施期間	2016年1月～2021年12月（5年11ヵ月）
9. 事業費概算額	48,008千円
10. 事業の実施体制	<p>【日本側】一般社団法人キリマンジャロの会 プロジェクトマネジャー1名、プロジェクトマネジャー補佐1名、国内調整員1名、 国内調整員補佐1名、現地調整員1名、現地調整員補佐1名、教育専門家複数名</p> <p>【タンザニア側】NGO さくら・ヴィジョン・タンザニア</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	一般社団法人 キリマンジャロの会
2. 活動内容	本プロジェクトに関わる活動全般